

学生の主体性を引き出す 学び場づくりへの挑戦 —事業開発コースでの事例を中心に—

平成26年度インターンシップ等実務者研修会〔福岡地区〕

九州産業大学 経営学部

間間 理

(ききま おさむ)

Contents

- 取り組みの背景
- 事業開発コースのフレーム
- 学び場づくりのキーワード
- よく受ける質問

取り組みの背景

- 九州産業大学

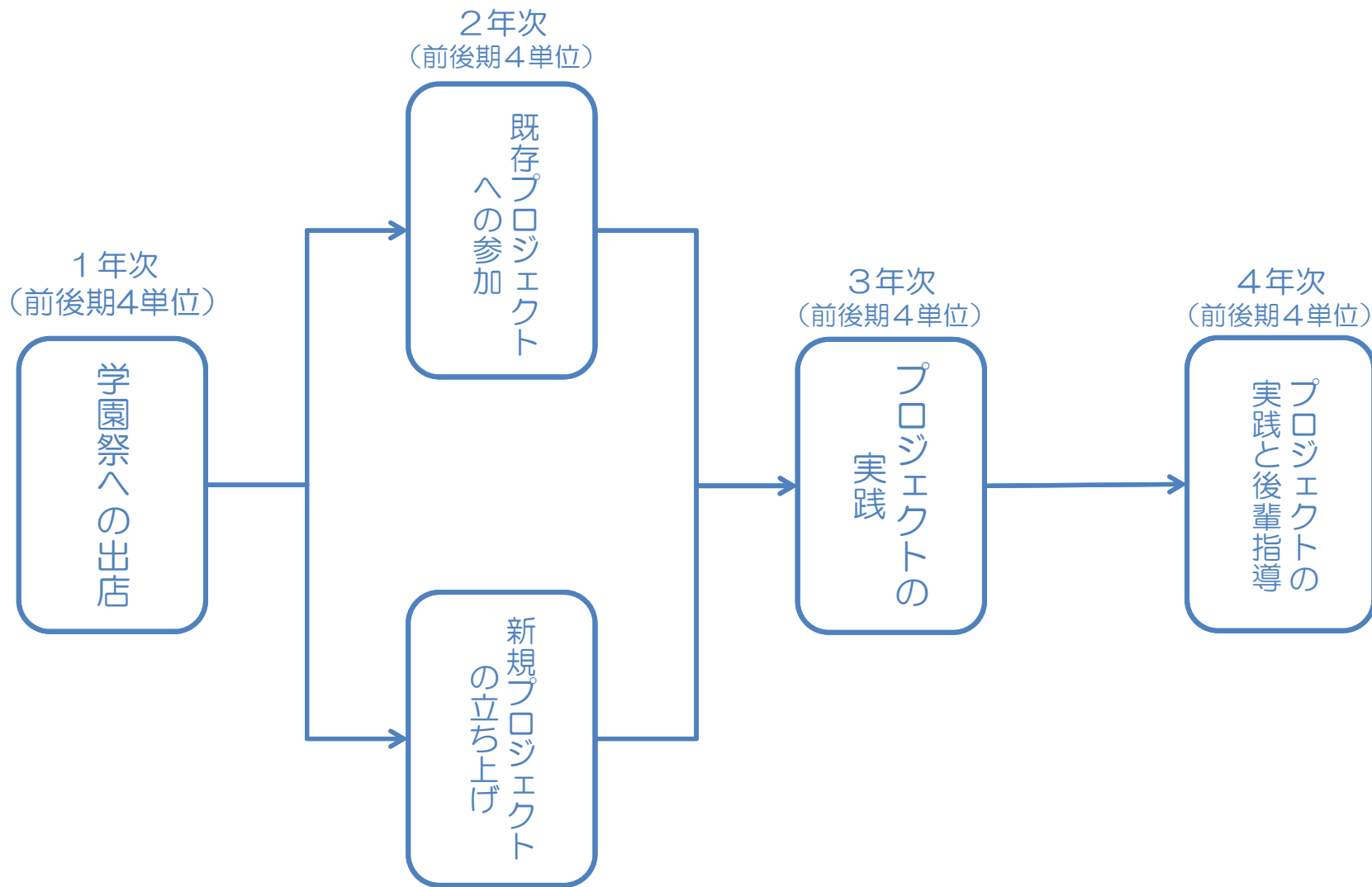
- キャンパス：福岡市東区松香台
- 学部：経済・商・経営・国際文化・芸術・工・情報科学
- 学生数：10,504人
 - 経営：1,752人（各年募集定員 400名）
- ここ20年ほどで受験生数は大幅減
- 入学者の学力低下、中途退学が問題に

事業開発コースのフレーム①

- 九州産業大学経営学部産業経営学科のコース（他に会計コース）
 - コース卒業は卒業要件ではない
- 専門科目の演習科目として設置
- 1年前期から4年後期まで設置
 - 最大32単位まで習得可能
- 各学年の科目を同一教室で実施

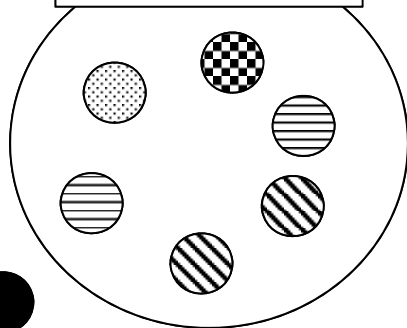
事業開発コースのフレーム②

- 学生たちがプロジェクトを企画、実行する
 - プロジェクトのテーマには原則として制約なし
 - 同学年のみでも、異学年混成でチームを組んでもよい
- 担当教員を複数配置し、アドバイザー&メンターとして関わる

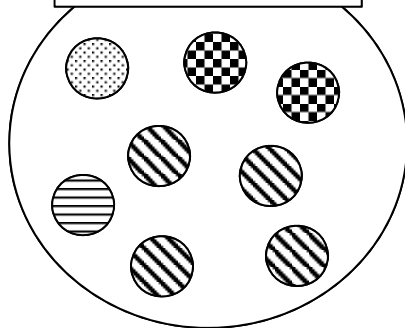


事業開発コース

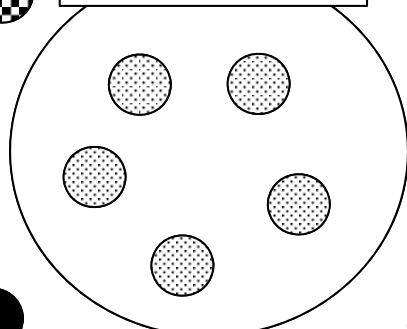
プロジェクトA



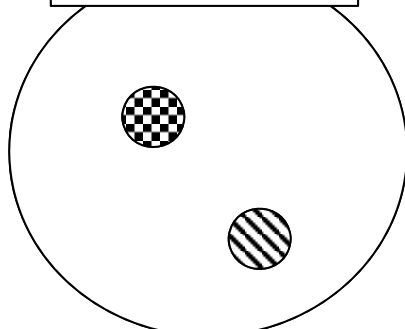
プロジェクトB



プロジェクトC



プロジェクトD



● 1年生 ● 2年生 ● 3年生 ● 4年生 ● 教員













第11回 大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト

主催：大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト実行委員会【九州経済産業局、福岡市、(社)九州経済連合会、
(株)中小企業基盤整備機構九州支部、日刊工業新聞社西部支社、(財)九州地域産業活性化センター、(社)九州ニュービジネス協議会】
後援：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、北九州市、西日本新聞社、佐賀新聞社、長崎新聞社、
熊本日日新聞社、大分合同新聞社、宮崎日日新聞社、南日本新聞社

未来防災教育プロジェクト
「これからの未来へ一人でも多くの命が助かるように」

Ueth(ユース)
「若者に幸せな人生と生きる意味を」

情報管理システムによる教育現場の支援
「自分たちで管理する、学生たちの情報」

子どもすくすくスクール
「お家でうけられる食育・体育・健康」

技術教育を組み込んだ福祉機器の開発



事業開発コースのフレーム③

- 演習時間内では全体でのワークと、個別プロジェクトでのワークを半分半分ぐらいで織り交ぜて進める
- 記録はこまめに取りるように指示
 - 個々人の振り返り（毎週）
 - プロジェクトごとの活動記録（毎週）
 - 企画書（イベントごと）
 - 報告書（イベントごと）

日付	曜日	3限	4限
4月11日	金	1年生と事業開発コースについて語るワーク	
4月18日	金	1年生:面接 2年生以上:コーチング研修1	
4月25日	金	グループワーク	グループワーク
4月26日	土	オノレバ企画(新入生オリエンテーション)終日※一部メンバーのみ	
5月3・4日	土・日	博多どんたく催事日(farm3.0 参加)	
5月9日	金	志や目標を考えるワーク(育栄社)	
5月10日	土	特別研修:「震災から学ぶ・被災地支援を考える」(2限) ※希望者は午後のワークショップも参加可	
5月16日	金	自主活動日	
5月17日	土	香椎校区「5月病を吹き飛ばせ」イベント(farm3.0・育栄社 参加)	
5月23日	金	1年生:ゴールデンサークル研修 2年以上:「組織の健康度」UP研修1	プレゼンタイム
5月30日	金	グループワーク	グループワーク
5月31日	土	学文祭準備・コミュニティガーデンまつり(farm3.0)	
6月1日	日	学文祭	
6月6日	金	学文祭報告(藤井)	グループワーク
6月7・8日	土・日	扇としょうぶ祭り(farm3.0)	
6月13日	金	報告(farm3.0)	1年生報告会
6月20日	金	1年生:基礎研修(未定) 2年以上:「PJの健康度」UP研修2	プロジェクト再編成会議
6月27日	金	グループワーク	グループワーク
7月4日	金	プレゼンタイム	グループワーク
7月11日	金	グループワーク	グループワーク
7月18日	金	オープンキャンパス準備	
7月25日	金	1年生:スタイル研修 上級生:コーチング研修2	
7月26日	土	オープンキャンパス準備日・香住丘夏祭り(育栄社)	
7月27日	日	オープンキャンパス実施日	
8月2日	土	香椎東夏祭り	
夏期休業中	—	合宿(日程未定)	

(参考)2014前期のスケジュール ※()内は学生のプロジェクト名

学び場づくりのキーワード①

- 内発的動機付け（自己決定感）
 - 課題を与えてやらせるのではない
 - 自分でやると決めさせる
 - 機会・選択肢はそれとなく与える
 - 選択するまで待ちつつづける

学び場づくりのキーワード②

- 振り返り（リフレクション）
 - 自らの体験にフォーカスさせる
 - 経験を意味付け、教訓を引き出す
 - 何かを語らせ、形に残すこと

学び場づくりのキーワード③

- ピア・コーチング
 - 問いを発し、考えさせる
 - 学生同士で対話する
 - 上級生と下級生の間での対話

学び場づくりのキーワード④

- ダイバーシティ（多様性）
 - 学習態度が異なる
 - 関心・価値観が異なる
 - 学習の習熟度も異なる

学び場づくりのキーワード⑤

- ロールモデル
 - 実在の学生になる
 - 学び場の価値観をある程度体現
 - ストーリーが伴う

学び場づくりのキーワード⑥

- セレモニー・マネジメント
 - ルールで縛らない
 - 毎週のセレモニーは一体感をつくる
 - 年度区切りのセレモニーやシンボルの付与はアイデンティティの移行を促す

学び場づくりのキーワード⑦

- オープンネス（開示性）
 - 参加しやすい空気
 - 必要に応じて外部講師招聘
 - 他の授業や大学との交流
 - コラボプロジェクトへも発展

よく受ける質問①

- 導入にあたって大学内での反対はありませんでしたか？
 - ありました
 - 小さく導入し、絶えず拡大していききました
 - 面白く思っていない人がいるくらいがちょうどよい

よく受ける質問②

- 成績評価はどうしていますか？
 - 結果による評価の比重は少なくしています
 - 各人・各プロジェクトの行動記録に基づく評価を重視
 - 能力測定のアセスメントは必要だと考え、その方法は開発中です

よく受ける質問③

- 学生たちの就職はどうですか？
 - 年度によりますがいつも100%とは言っていません
 - 就活指導は特にしていません
 - 大手企業というよりも自らの「夢」の実現につながる企業を探して選んでいるようです

よく受ける質問④

- 予算はどう確保していますか？
 - 学長からの特別予算を300万ほどつけていただいています
 - 小さな実績を積み重ねて、少しずつ拡大しています
 - 大学全体の広報につながるものが理解してもらうために重要です

よく受ける質問⑤

- 大学教員なら誰でも指導する側に回れますか？
 - 年をとるほど変わることは難しい
 - 採用プロセスで模擬演習などで、適性を確認する必要がある
 - 標準的な大学教員は良くも悪くも「専門家」です. . .

よく受ける質問⑥

- 研究との両立はできますか？
 - ご自身の研究テーマが学生のプロジェクトに密接に連結していればできます
 - 土日や平日の研究日も、プロジェクト活動やどこで役に立つかわからないネットワーク構築のために奔走する必要があります

よく受ける質問⑦

- 指導者に必要な資質は？
 - 「できない」 ことにいらつかない
 - 「知らない」 ことを認める
 - 批判は「適当」に受け流す
 - 学生に代わって頭を下げられる
 - 世界を良くしようと真剣に思う

よく受ける質問⑧

- 現在の課題は何ですか？
 - － 大学経営層・教職員・高校教員・保護者への理解の拡大
 - カリキュラムを含む環境整備
 - 他の科目への応用・横展開
 - － 学生の内での専門分野（経営学）や教養の自発的学習への早期連結
 - － 教育手法の研究開発と共有のためのネットワーク拡大